



たてわり保育で 元気はつらつと

菊の香り豊かな11月13日、東保育園で「昭和56年度公開保育研究会」が開催されました。

当日は、従来の年齢別保育を、全園児たてわりに組みかえ、運動遊びをととして、自立、協調、責任を培う保育を公開。園児たちは、おおぜいの関係者が見まもるなか、元気はつらつと、とびばこ、トランポリン、平均台、マット運動で、心と体をきたえていました。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

10月31日現在	(前月比)
総人口 25,527人	(12人減)
男 12,464人	(5人増)
女 13,063人	(17人減)
世帯数 7,218世帯	(7世帯増)

二年続きの不作

産米の集荷率は70.44%

政府はくず米を買い入れ



農協への出荷も出足がにぶりがち

ことしの稲作は、春先の異常低温、八月の台風、ウンカの発生、出穂期以降の低温などが重なって登熟が不良となりました。町では、出荷作業も終盤をむかえたことから、五十六年度産米の集荷状況を調査しましたが、十一月十六日現在で政府売渡限度数量に対する集荷率が七〇・四四％で戦後最悪の不作となりました。

本格的な収穫期が終り、出荷作業も峠を越しましたが、町では五十六年度産米の売り渡し状況を十一月十六日現在で集計しました。

ことしの売渡し限度数量は、うるち米、もち米をあわせて十八万七千九百三十四俵ですが、十六日現在で十三万二千三百八十俵となりました。

集荷率は七〇・四四％で、昨年の最終集荷率七八・八％を大きく下回っています。

一等米は一四・六％

ことしは、売り渡し数量の減少

に追い打ちをかけて、品質も著しく低下しています。

十六日現在の総集荷量の内訳をみますと一等米は一四・六〇％（昨年は五七・五％）、二等米は六〇・三四％（三七・二一％）、三等米は二五・〇六％（五・二％）となっています。

また、くず米は三十キロ入で二万二千八百七十九俵も出荷されています。

くず米を買い入れ

農家では収量減、品質が低下していることから、町では十月十九日に稲作等冷害対策本部を設置して被害農家の救済をめざして各方面に運動が展開されました。

この結果▽等外米、規格外米は政府で買いあげることになりました。また▽水田利用再編対策第二期対策による転作面積の配分は今年を上廻らないこと、▽水稲種子確保対策と購入費に対する助成▽農業共済金を早期に支払い…では昨年を下廻らない方向で検討されています。

さらに▽融資限度額の拡大、▽救済対策事業の実施と就業あっせん対策、▽制度資金の償還期間延長、▽国税、地方税の減免…などは、関係機関に要請しております。

産米の売渡状況調べ

年 度	等 級	1 等	2 等	3 等	等 外	計(集荷率)
	売渡し限度数量	俵	俵	俵	俵	俵
54年度	203,374	130,552 (60.97%)	80,322 (37.51%)	3,231 (1.50%)	33 (0.02%)	214,138 (105.29%)
55年度	192,483	87,041 (57.56%)	56,517 (37.21%)	8,027 (5.20%)	45 (0.03%)	151,630 (78.80%)
56年度 (11月16日現在)	187,934	19,322 (14.60%)	79,879 (60.34%)	33,179 (25.06%)		132,380 (70.44%)

農協に一時預託

町内の農協でも、二年続きの冷害で運用資金に困難をきたしています。

このことから、町では農協経営の正常化をはかるため、昨年に次いで町内六農協に総額一億五千万円を一時預託しました。預託期間は十一月十日から明年の三月二十五日までとなっています。

町長 日誌

11月1日～11月15日

- 1日 火災防ぎょ訓練・七日市産業祭開会式
- 2日 合川高校創立二十周年記念式典
- 3日 文化祭開会式
- 4日 鷹巣地域産業青年部会シンポジウム
- 5日 大北クロスカントリー中央公園大会
- 6日 鷹巣阿仁広域市町村圏組合管理者会議
- 7日 秋田フィナンランド協会総会・秋田市
- 8日 大館市北秋田地方教育委員会連合会秋季総会
- 9日 町議会議員研修会
- 10日 町事業主交通安全連絡会設立総会
- 11日 秋田さきがけ政経懇話会、知事・町村長行政連絡会議・秋田市
- 12日 鷹巣町外六カ町村衛生施設組合研修・青森県地域の医療を考える集い
- 13日 大館市北秋田郡公民館活動研究大会
- 14日 木村清氏秩父宮章受賞記念祝賀会・大館市

ます。

農協別の預託金は次のとおり、
▽鷹巣農協 千五百万円
▽綴子農協 三千三百万円
▽栄農協 千九百万円
▽西部農協 二千八百万円
▽沢口農協 二千九百万円
▽七日市農協 二千六百万円

鷹巣土地改良区で

揚水機を改修

総事業費は六億二千万円

鷹巣土地改良区では、坊沢、鷹巣、栄の三地区の水田四百九十五ヘクタールに、米代川から揚水機でポンプアップして用水を供給していましたが、年々、河床が低下し、渇水期の用水確保が困難になったことから、六億二千万円をかけて抜本的な改修工事を行うことになりました。

仮止めて急場をしのいでいる揚水場

県営事業で揚水機を設置して、四百九十五ヘクタールの水田に用水を供給していました。

しかし、河床の低下が著しく五十年以降は、渇水期に水位が下がり用水確保に困難をきたす状態になりました。

とくに、五十三年には異常気象による大干ばつに見舞われ、取水不能になり、臨時ポンプ四基を設置して、揚水するという応急対策を講じました。

その後も、米代川の河床が低下していることから、数年後には揚水確保に困難をきたす恐れがあり、同土地改良区では関係機関に改修工事の要請をしていましたが、このほど県営かんがい排水事業で揚水機の抜本的な改修工事が行われることになったものです。

十一月十日には関係者が工事現場の摩当・碓岱に集まって、工事の安全を祈願して起工式が行われました。

かんがい面積は四百八十四ヘクタールで最大所要水量は毎秒四十四・九トン、平均所要水量は毎分三十一トンで、これに用水を供給するため新型揚水機二基を設置し取水するものです。

工事費は総事業費が六億二千万

円。主な内訳は揚水機および建屋工事費が三億三千万円、河川の床止め付帯工事費が一億八千万円、事務費三千四百万円、設計費千八百円となっています。

歳入の内訳は、国庫負担金三億千円、県費負担金二億千七百円、受益者負担金九千三百万円となっています。

事業の完成は三年後の五十八年になる見込みです。

おしらせ

出稼ぎ者激励集会

町では、出かせぎ者の正月帰郷者を対象に、次により激励集会を開催します。で、ぜひ出席くださるようご案内いたします。

日時 一月四日午後一時から
場所 中央公民館ホール

不明な点は、役場商工観光課へお問い合わせください。

停電のおしらせ

十二月の作業停電は、次の地区です。

▽9日 今泉（午前九時から正午まで）

▽11日 陣場岱揚水付近（午前九時から正午まで）

▽16日 川口（午前九時から正午まで）、川口地区の一部と湯車（午後一時から三時まで）

▽21日

早い冬の訪ずれ

29センチの大雪を記録



気象通報所開設以来初の

十一月七日中夜から断続的に雪が降り始め、九日朝には二十九センチの積雪となり、十一月上旬では記録的な大雪となりました。

西高東低の冬型気圧配置となり、五千メートル上空には零下四十度のシベリア寒気団が南下し、八、九の両日は全国的にきびしい冷え込みとなりました。

九日朝には二十九センチの雪が積もり、野も山も白一色の銀世界となりましたが、これは明治三十二年に開設され、八十二年の

深閑（午前九時から午後一時まで）
▽23日 沢口（午前九時から午後一時まで）

町営住宅
入居者募集

このほど完成した胡桃館（新田中）団地の町営住宅の入居者を一戸分につき募集をしています。

希望者は、十二月七日まで建設

課計画係へ。

鷹巣川井堂川
線が片側通行

県道鷹巣川井堂川線の湯車地内が、雪寒道路整備工事（防雪柵の設置）のため、片側通行となります。

期間は、十二月三十一日まで。

南小で収穫感謝祭

南小学校(吉岡本三郎校長)では、十一月十七日午前十時から七日市基幹集落センターで、学校の圃場から生産した農作物で「収穫感謝祭」を行いました。

同校では、昭和五十二年に地域農業後継者対策特別事業として、国から指定を受け、野外農業教室として、農業施設の見学や勤労体験の学習を行ってきました。

当日は四、五年生六十五人と、お母さんたち三十人も参加。畠山助役のあいさつのあと、児童が「野外農業教室」「サツマイモ日記」「施設見学」の体験発表を行いました。続いて、センター前で慣れない手つきでキネをふり上げモチつき。映画観賞をして農業に関心



と理解を深める勉強をしました。

お昼は、お母さんたちが準備したキリタンボや、自分たちがついたモチのお昼に、舌つづみを打ち、収穫を祝いあいました。

南小学校では、五カ年継続の同事業がことして終了となりますが、これまでの勤労体験を学習に生かし、農業に親しむ健康な児童の育成に役立てたいとしています。

自衛官募集

五十六年度自衛隊生徒および二等陸・海・空士自衛官を、次の要領で募集しています。

自衛隊生徒

▽資格 中学校卒業者(五十七年三月卒業見込みを含む)で十五歳以上十七歳未満の男子

▽受付 十二月十九日まで

▽二等陸・海・空士

▽資格 十八歳以上二十五歳未満の男子(五十七年三月高校卒業見込みを含む)

▽受付 十二月二十五日まで

くわしくは、自衛隊秋田地方連絡部大館出張所へ。

人権擁護

相談所を開設

大館人権擁護委員協議会と秋田

地方事務局大館支局では、十二月四日午前十時から午後三時まで、中央公民館で無料人権相談所を開設します。

土地家屋の権利、相続、登記、交通事故、労働権などの問題でお困りの方は、お気軽に相談ください。相談事はいっさい秘密に扱います。

*困りごとは人権擁護委員に

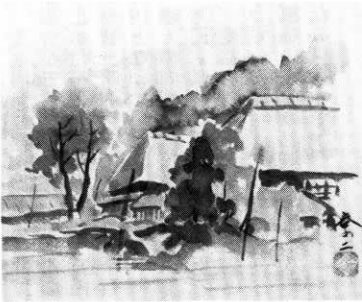
人権擁護委員は、みなさんの人権が侵されないようたえず見守り、また、みなさんのいろいろな困りごと等についても、いつでも相談に応じています。

当町の人権擁護委員は……

三沢愛(綴子上町 電話二一三九三六) 奈良幸恵(住吉町 二一〇一四六) 山田唯雄(米代町 二一〇一五三) 高坂八衛(南鷹巣一〇六九〇) 畠山清吾(七日市大畑六一二五四)

九島氏水彩画展を開催

益金は歳末たすけあいに



一線美術会運営委員として、広く活躍されている九島寮二さんが「歳末たすけあい運動」の一環として、チャリティー「水彩展」を十二月四日から十三日までの十日間、鷹巣町中央公民館一階ロビーで開催されることになりました。

九島さんは、ご承知のとおり「広報たかのす」のお知らせ欄に、毎回カットを描いて、ご協力をお願いしています。

また、このほど一線美術会の委

七日市で郷土誌を発刊

七日市郷土誌が、このほど発刊されました。同郷土誌は、全文三百十九ページ、三編十一章からなっています。

「村のあゆみ」編によると、縄文時代の平均死亡年齢は男三十一・四歳、女三十一・五歳で、現在の平均死亡年齢は男七十歳、女七十五歳と比較すると半分以上になっています。

ほかに、浅利氏の盛衰、郡立農林学校創立(現在単農林高校)、村勢の発展に尽くされた七左衛門と貞治、木炭業の盛衰などが収められています。



員から運営委員に推挙され、中央の画壇でも注目をあつめ、将来を大きく期待されています。

展示される水彩画は、額つきで一万円でお分けし、その収益金は、社会福祉協議会に贈ることになっております。

購入を希望される方は、備え付けの用紙に、希望する画の番号、住所、氏名、電話番号を記入のうえ投箱してください。

希望者が多い場合は十二月十四日抽せんして、該当者に連絡いたします。

くわしくは、役場総務課広報係(電話二一一一)におたずねください。

《 町 立 幼 稚 園 》

①申し込み期間

12月1日から12月25日まで

②申し込み先

入園願書は町教育委員会と各幼稚園にありますので、交付を受けて幼稚園に提出してください。

③募集範囲

北幼稚園＝綴子地区一円

西幼稚園＝坊沢・七座地区一円

④募集人員

北幼稚園＝40名 西幼稚園＝40名

(昭和52年4月2日から53年4月1日までの出生者)

⑤入園通知

2月下旬まで保護者に可否を通知します。

保育園と町立幼稚園の



入園受け付け中

町立幼稚園・保育園では、それぞれ57年4月入園の希望者の受け付けをしています。

幼稚園は、授業料が月4,000円のほか、教材費として2,000円程度かかりますが、保護者の所得

に応じて減免措置をします。

保育園の場合は、保護者の所得により15階層に分けられますが、57年度は各階層とも下記の表の基準額に5%程度の加算が見込まれます。

昭和56年度保育料徴収金基準表

各月初日の在籍措置児童の属する世帯の階層区分		徴収金基準額 (月額)	
階層区分	定 義	3歳未満児の場合	3歳以上児の場合
A	生活保護法による被保護世帯(単給世帯を含む)	0 円	0 円
B	A階層を除き前年度分の市町村民税非課税世帯	0	0
C ₁	A階層及びB階層を除き前年度分の市町村民税の課税世帯であってその市町村民税の額の区分が次の区分に該当する世帯	均等割の額のみ(所得割の額のない世帯)	6,450
C ₂		所得割の額が5,000円未満	4,400
C ₃		所得割の額が5,000円以上	7,050
D ₁		3,000円未満	8,050
D ₂		3,000円以上15,000円未満	6,750
D ₃		15,000円以上30,000円未満	10,350
D ₄		30,000円以上60,000円未満	12,400
D ₅	A階層及びB階層を除き前年度分の所得課税世帯であってその所得額の区分が次の区分に該当する世帯	60,000円以上90,000円未満	16,750
D ₆		90,000円以上120,000円未満	22,100
D ₇		120,000円以上150,000円未満	27,800
D ₈		150,000円以上180,000円未満	35,200
D ₉		180,000円以上210,000円未満	39,950
D ₁₀		210,000円以上240,000円未満	保育単価
D ₁₁		240,000円以上270,000円未満	保育単価
D ₁₂		270,000円以上	保育単価

《 保 育 園 》

①申し込み期間

12月1日から12月26日まで

②申し込み先

申請用紙を役場町民課福祉係か各保育園から交付を受けて、福祉係に提出してください。

③各保育園と定員…()内は3歳未満児

鷹巣保育園＝90名(30名程度)

南鷹巣保育園＝150名(45名程度)

七日市保育園＝60名(12名程度)

綴子保育園＝60名(12名程度)

中央保育園＝90名(20名程度)

東 保 育 園＝60名(12名程度)

竜森保育園＝30名(3歳以上児に限る)

④入園通知

1月下旬に面接を行い、2月下旬まで保護者に可否を通知します。

大ハッスル

＝自らの能力を社会に役立てよう＝

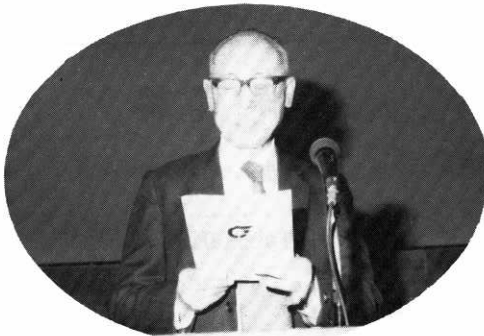


▲力づく選手宣誓

十一月十六日午前九時半から、町内の「熟年パワー」四百人が参加して、老人福祉大会が鷹巣体育館で開かれました。
出川町長のあいさつのあと、健康づくり活動実践団体として緑ヶ丘老人クラブが表彰を受けました。
その後、綴子第四寿会が活動の事例を発表。つづいて町老人クラブ連合会長・長谷川慎一郎さんが、「自らの能力を地域社



▲ステッキさばきも手なれたもの



◀長谷川・老連会長の
スローガン朗読

国民年金

所得申告が必要です

福祉年金

受給者も

福祉年金は、保険料を掛けなくとも、全額国の負担によつて年金の支給が行われております。

しかし、その支出も、限られた財源の中から効果的に支給されなければならぬため、恩給や厚生年金などを受けているときや、本人・扶養義務者などにある程度の所得があるときは、その受給に制限を加えることにしております。

今回は、所得申告と福祉年金受給の関連についてお知らせします。

◆所得の申告がなぜ必要か

毎年八月、町や県では、年金受給権者本人や扶養義務者などの前年の所得状況を調査し、各種審査を行った上で、支給・停止を決定することになっております。

したがって、収入の多少にかかわらず、所得の申告をしない者は「所得の把握が不可能」なため、支給停止（未決定保留）をされることとなります。

―次の場合にも注意を―

※生活保護を受けている場合でも申告がされていないため停止される場合があります。

※譲渡（長期・短期）所得がある場合に、無申告のまま受給して

いると、後日、返還させられることとなります。

出稼ぎ年金

忘れずに

わが町には、冬期間出稼ぎに行っている人がたくさんおりますが厚生年金に加入しているのか、いないのかはつきりしていない方が意外に多くいます。

そこで加入の有無が「ズバリ」わかる方法のひとつとして、給料の明細票でみる方法があります。明細票の厚生年金保険料〇〇円の欄に金額の記入をしている場合は加入しているということになります。それでもわからないときは、事業所や管轄する社会保険事務所に問い合せしてみることです。

◆厚生年金加入がはつきりしたら国民年金をやめる届を役場に出すこととなります。

◆退職することになったら

厚生年金加入期間証明書の交付を事業所から受けることです。

そして、役場で国民年金加入の手続きすることになります。

届け出を忘れたり、出したつもりで出さないでいると、万一の場合など、期間不足や未納のため、年金受給ができないこととなります。

町老人福祉大会で

熟年パワー



◀「ボールの旅」リレーでは、各チームとも大ハッスル



▲応援にも熱が入ります

会に役立てよう」と、スローガンを朗読しました。
二部の「体力づくり」では、「ゲートボールリレー」や「アベック・スプーンリレー」などで館内を沸かせる仲間の声援を受け、熱戦が展開されました。
その後、昼食をはさんで「地区対抗歌合戦」が行われ、自慢ののどを披露し、熟年パワーの意気盛んなところを発揮していました。



◀仲間からヤンヤのかっさい

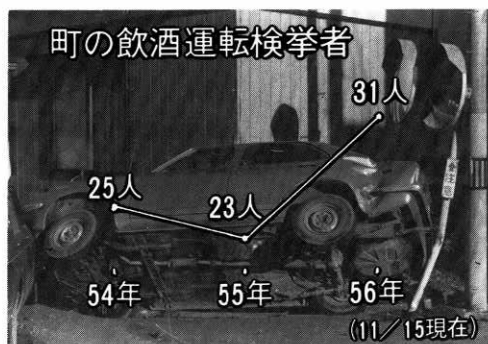
年末の交通安全運動 (12/1~12/10) ・飲酒運転追放 (12/1~12/31)

年の瀬は、交通が混雑し、積雪や凍結で道路事情が悪くなり、交通事故の多発が予想されます。

また、この頃は日没時や、子供・老人の飛び出しと自転車運転中の事故が多く発生しています。歩行者もドライバーも気をつけましょう。

《重点目標》

- ◆子供と老人、身体障害者を交通事故から守りましょう。
- ◆安全運転をしましょう。
- ◆シートベルトを着用しましょう。
- ◆飲酒運転を追放しましょう。



飲酒運転検挙者が年々増加の傾向にあります。年末は、とくに酒を飲む機会が増えますが、職場や家庭で注意しあい飲酒運転を追放しましょう。

公民館のついで

十一月十五日、中央公民館において、第二十九回大館市北秋田郡公民館活動研究大会が開かれ、町内外から約二百名の関係者が集まり大会主題「住みよい地域をつくるために公民館が果たすべき役割とその方法」について熱心な討議をしました。

三重点について 七分科会で実践発表

会場地鷹巣町の公民館では、今当面している課題として、「青少年の健全育成」「生活の見直し」「自治能力の確立」の三つの重点をかけた、それぞれの分科会で実践発表をして批判をおおきました。

生活の合理化を 地域産業と

「生活の合理化と地域産業の発展に役立つ学習」については、県新生活運動協議会常任推進委員、鍵谷和子氏が、物を粗末にした時代から低成長時代に入った今、消費生活のあり方について真剣に取りくまなければいけないと述べ、▽個人としては家計簿をつけること、▽仲間同志で不用品を有効に使う運動をすすめること、▽地域では冠婚葬祭の合理化

青少年健全育成 公民館が調整役を

シンポジウム「次の世代の担い手である青少年の健全育成」については、秋田大学助教保田正毅氏が、県内の少年非行事件が中央都市部の型に似てきたとして、

をすすめること、▽公民館では、地域産業に目をむけ、生産意欲を高めるための勉強会を開いてほしいと述べました。

自分たちでできることは

「部落自治公民館活動のすすめ方」については、田代町長藤田三司栄氏が、昔の集落自治の良さを見直すべきであるとして、ワリィダー的な人は肩書きをはずし、みんなと酒をのみ何でも自由に言える雰囲気をつくること、▽部落には共通課題が必要で、行政援助にのみ頼らず、自分たちでできることは、自分たちでやってゆくようにしなければいけない、▽公民館は個々の部落のつなぎ役となり、職員は集りの中にどんどん入ってゆくようにしてほしいと述べました。

(分科会テーマと発表者)
第一分科会・学校教育と社会教育の連けい (中央公民館 河田芳一氏 成田正宏氏) 第二分科会子育て地域ぐるみ活動 (七座公民館 武田勇美氏、中村幸雄氏) 第三分科会 家庭教育の学習 (栄公民館 松尾精一氏) 第四分科会 生産性向上の学習 (七日市公民館 宮腰光雄氏) 第五分科会消費生活の見直し学習 (綴子公民館 佐藤正氏、藤島一氏) 第六分科会 地域における団体活動の支援 (坊沢公民館 佐藤政五郎氏) 第七分科会 部落(町内)自治公民館活動 (沢口公民館 中林藤吉郎氏、小原清氏)



郷土史年表

(43)

西暦	年号	事	項
一九一九	大正八	○二月二十六日、今泉大火 焼失家屋三十二戸 ○三月十一日、坊沢小学校々舎全焼、役場を仮校舎にして授業する ○五月、日本キリスト教団鷹巣教会創立 ○六月、鷹巣市場開設 ○六月 坊沢村で土木補助工事を借り入れ、牧野改良を行う ○六月 摩当沢国有林字大悪木沢面積約百三十二町歩に放牧地を設置す ○六月二十八日ヴェルサイユ条約調印 ○九月 県会議員に成田重太郎当選 ○十月十八日 沢口小学校にバラチフス患者発生、一週間学校を閉鎖す ○綴子、鷹巣に実業補習学校創設 ○経済恐慌のため官民その対策に腐心 ○二月 七座農業補習学校創設 ○五月十日、衆議院議員に高橋本吉(綴子) 成田直一郎(鷹巣) 当選 ○五月 鷹巣自動車会社創立 ○七月二十四日 鷹巣小学校では、水泳練習のため、全校児童を米代川に引率す。以来毎年の行事となる。 ○十月 高橋本吉 米国シヤトルで死す ○十月一日 第一回国勢調査実施、鷹巣(旧町)人口三千二百二十六人、戸数五百二十六戸 ○十月六日 大野台に飛行機が来たので、各学校の児童を引率して見学させる。「空前の挙なり」との記録が残っている	

(続く)



綴子で収穫に感謝して農民祭

綴子地区で、農作物の収穫に感謝して11月15日、基幹集落センターで「農民祭」が行われました。

記念講演や民謡ショーで日頃の疲れをいやしました。また「つと納豆」や「いがモチ」、「くず米おやつ」の加工品や農産物、生活工夫品などが展示されました。

即売では、名産の田子ヶ沢セリや肉などを格安で販売して、訪れた多くの人たちから喜ばれていました。

青少年の非行が低年齢悪質化している今日、総理府では青少年の健全育成をはかるためキャラバン隊を編成。県内を一巡の途中、11月11日役場を訪ずれ、出川町長にメッセージを手わたしました。

町長から「次代をになう青少年の健全育成と非行の防止に努める」とのあいさつを受けたあと、同隊は町内に広報車をくり出して道ゆく人に訴えていました。

青少年健全育成でキャラバン



医療を考える集い、開かれる

医師や行政、住民が200余人参加して、6回目の「地域医療を考える集い」が11月14日午後2時から中央公民館で開催されました。

集いでは、ガン、脳卒中、結核の予防対策として各種検診を実施しているが、受診率が悪いことから、一般住民、小規模事業所に健康教育の開設と受診体制のバックアップを望む声が多く出されました。



町連合青年会（出川喜英会長）では、このほど森林愛護と林業後継者育成事業の一環として町有林の枝打ち作業を行いました。

作業は徳左エ門谷地の町有林の10年生杉、1ヘクタールで実施され、会員60人余りが参加。農林課職員の指導で、ナタやノコギリを使って手際よく枝打ちを行い、将来の林業家をめざして熱心に作業を進めていました。

町連青で枝打ち作業を実施



社会体育 鷹巣町体育協会の あゆみ

財団法人鷹巣町体育協会創立20周年記念式典



体協の設立とまごころ国体

鷹巣体協は、昭和三十四年に十単協の加盟により発足しました。当時は、三十六年の秋田国体を控え、全県あげてその準備に取り組み、町民のスポーツ熱も、徐々に盛り上がりを見せてきた頃でした。

既成の単協の組織化を図り、スポーツ人口の拡大と運動技術の向上を目的にスタートしました。

「まごころ」をテーマにした秋田国体では、高校男女と教員のバレーボール競技を開催し、町と体協の連携プレーでなし遂げた大会運営は「人情豊かなバレーボールの町」として、全国にその名が知れわたりました。

スポーツ人口の拡大と 選手育成

四十一年には、地域スポーツ活動の普及と振興を掲げ、スポーツが町民の生活に定着してきていることから、文部省指定の社会体育モデル町として、県内市町村の指導者に公開発表をしました。翌年には社会体育振興の成果が認められて、文部大臣賞を受けました。

四十八年以降は、体育館やその他の体育施設の完成によって、一般町民を対象としたスポーツ教室の運営やスポーツクラブの養成にも力を入れてきています。

また、選手の育成強化を図り、陸上、バレー、バスケット、テニス、バドミントンでは、数多くの

国体選手を送り出しています。 財団法人化と組織の強化

五十二年、町の補助、篤志家の寄付、会員の拠金等により、千万円の基金が達成されました。このことにより翌五十三年に「財団法人鷹巣体協」が発足しました。

町単位での財団法人化は、全国でも初めてであり、県内外から運営が注目されることになりました。文部省では、千万円達成とその組織づくりを高く評価し、優良団体として表彰しました。

五十四年には、体協創立二十周年行事を盛大に催し、功労賞、栄光賞等受賞された団体や個人は約二百名にものぼりました。

なお、町の社会体育の歩みと現状を総合的にまとめた記念誌「躍動」も発行されました。

スポーツの町 鷹巣

現在鷹巣体協は、加盟単協十七団、会員九百三十二名を擁し、町民対象の数々の大会や教室を開催し、選手の定期的なトレーニングを積み上げ、指導者の資質の向上と審判員の養成に励んでいます。

これらの成果が、県スポでバレー、バスケット、剣道、テニス、陸上等の優勝を果し、スポーツの町鷹巣、を不動のものにしました。

また、ママさんバレーの全国優勝や全県青年体育祭で、七種目の制覇をするという快挙の陰には、社会体育振興の因となっている、鷹巣体協があることを忘れてはならないのです。

ふるさと 人物伝 (15)

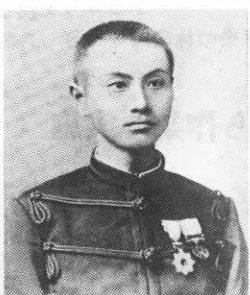
神成 文吉

(一八六九—一九〇二)

明治二年、鷹巣町・神成久衛門の次男として生まれる。明治二十一年、陸軍教導団歩兵科卒業下士官を経て、同三十四年五月大尉に昇任、青森歩兵第五聯隊の中隊長となる。土族でなければ士官学校に入れない時代に、平民で将校になった彼は抜群の成績であった。

その頃、日露戦争が必ず起きるとみられ、もし津軽海峡がロシア艦隊に占領され、艦砲射撃で陸路が遮断された場合、八甲田山系を通って軍の移動が可能かどうか論議されていた。青森第五聯隊と弘前第三十一聯隊がそれぞれ実地にあたってみることにした。

明治三十五年、青森第五聯隊



の大隊長山口少佐は神成大尉に、「一月二十三日、大隊古兵をもって中隊を編成し、田代に向かつて一泊行軍を行う」ことを命じ自らも随行することにした。

当日、午前六時五十分、雪中行軍隊二百十名は、荷物を積んだソリ十四台を後続に、ラッパの音も高らかに営門を出た。田茂木野までは人の歩いた跡があったがそれから先はなくなり、昼ごろには天候が急変し猛吹雪となった。昼食の二ギリメシは石のように固く凍っていた。沈着さと適切な判断力を持つ神成大尉は危険を感じ、行軍を中止し帰營しようとしたが、山口少佐は強行を命じ、以後指揮権を奪い、つぎつぎと誤った判断の命令をくだした。下士官兵卒は吹雪の荒野に道を迷い疲労と睡眠不足に夢遊病者のようにさまよい歩き、枯木のようにつぎつぎと雪の中に倒れた。二十五日まで生存者僅か十一名を残し、全滅状態となった。最後までたまたかった神成大尉の死体も雪中から発見された。

新田次郎著「八甲田死の彷徨」は当時の記録をもとに書かれた映画となつて当町でも上映された。神成大尉の実家の当主は東横町(旧学校通り) 神成茂夫氏である。

(資料、昭四六・秋田魁新聞所載「秋田人物記」新田次郎著「八甲田死の彷徨」、中央公民館長 長崎 久)



わたしのお父さん

わたしのお父さんは、けいさつ
かんです。交通安全のため、パト
カーでまわります。

電話が来ると、夜でも仕事に出
かけます。さむいときは大へんだ
と思います。

お父さんは、せが高く、走るの



西小学校 3年

虻川 真紀子

がはやいです。お父さんは、おこ
るとこわいが、あとはやさしく、
そんなお父さんが大すきです。



でも、中三の長男がおり、頭のい
いたくなる思いです。
つい最近まで、なんとかなるだ
ろう程度にしか考えてなかったも
のですから、無責任な親の見本で
もあつたようです。

明日を考える前に、今日一日を
一生懸命生きることだと、自分
も、子供にも、言い聞かせていま
す。

私も四十二年間を振りかえれば、
いろいろな事があり、何回も挫折
しそうになりながらも、周囲の人
達のあたたかい励ましのおかげで、
今日までやってまいりました。現
在も決して、安泰ではありません
が、ただ言える事は、何かを生み
だそうとして、毎日毎日を努力す
ることが、たとえ、失敗におわつ
たとしても、いつかは明日への希
望につながるものだといふこと。
残された中学校生活に全力を注
ぎ、志望校への道へ突進してもら
いたいのが、無知な私の願いでも
あります。

子どもの進路

大堤 三沢正蔵(42)



今年も
高校入試
の時期が
近づいて
きました。

志望校により、進路を決める事
は重要なことでしょうが、それ以
前に、現時点を一日一日精いつば
い、悔いのないよう努力すること
が、大事なことに思われま
す。

を選ぶのが当たり前と思うものの、
ついついそれ以上の所を選びがち
になるかと思われます。実は、私
もその一人でしょうが……
今一度、よく考えてみれば、本
人に最も適当な学校を選び、精い
つばい活躍できる場を与えること
こそ、親としての責任であると思
われます。

みんなの広場



かぜくさ

「風草」の意。風が吹
くと穂がゆれることによ
るらしい。

(理科教育センター 阿部達雄先生)

広報のしおり

ホットドリンク

寒い時のも
てなしに、忙
しい家事の合間に、簡単につくれ
て体の温まるおいしい飲み物を。
*ホットアップル：リンゴは皮を

むき、芯をとって金けの少ないお
ろし金で手早くすりおろし、ハチ
ミツ少々を加え、熱湯を注いでレ
モンの輪切りを添えます。ワイン、
ブランデーなどを落とすと、風味
と味わいが増して大人向き。
*ホットダイダイ：ダイダイを絞
ってハチミツを入れ、熱湯を注ぐ
だけ。正月用のダイダイで、形が

悪いため安く売っているようなも
のを見つけた時に試してください。
*アイリッシュコーヒー：温めた
カップに砂糖を適量入れ、発火す
るまでに温めたスコッチウイスキ
ー(またはアイリッシュウイスキ
ー)二十ccを注ぎ、濃い目のコー
ヒーを注いで、上に泡立てた生ク
リームをたっぷりせます。

たかのす文芸

静かな夜

綴子小学校五年 伊東 竜

あしたは、晴れるといいなあ

眠れないぼくの耳に

ドボン!!

といやな音

あっ!! 鯉がはねたな

「鯉がはねると明日は雨」

と本で読んだことがあつたつけ……

ドボン

しばらくしてまたはねた

静けさをやぶって

『あしたは あめ!!』

と大きくきこえた。

残念だなあ

あしたのなべっこは雨かあ……

おしらせ



一線美術会運営委員 九島重二氏

十二月の健康相談

十二月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は、九日と二十三日です。

時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

むし歯予防と家族計画指導は、二日です。

時間は、午前十時から午後三時まで。対象者は満三歳以上の幼児で、おいでの時は母子手帳を忘れないでください。

妊婦健康相談は、七日と二十一日です。

時間は、午前九時から午後三時まで。おいでの時は母子手帳を忘れないでください。

また、今月の母親学級は、沐浴指導と分娩および産後の注意について。

時間は、午前十時から十一時まで。

※場所は、いずれも中央公民館保健相談室です。

◆ 離乳食実習指導は、十七日と十六年五月生まれとなっています。

受付時間は、午前九時半から十時まで。乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

◆ 乳児健康相談は、十七日と十六年八月生まれとなっています。

受付時間は、午後一時から一時半まで。

※場所は、いずれも鷹巣保健所です。

◆ 一歳六ヵ月児健康診査は、三日と五十五年四月、五月生まれとなっています。

受付時間は、午後一時から一時半まで。中央公民館ホールで行いますので、母子手帳と問診票を忘れないでください。

予防接種

生後二十四ヵ月から四十八ヵ月(五十二年十二月十七日から五十四年十二月十七日)までの出生者を対象に、百日せき、ジフテリア、

破傷風の三種混合ワクチンの予防接種を行います。

接種は、鷹巣地区以外の方は十七日、鷹巣地区の方は十八日です。

受付時間は、午後一時から二時半まで。中央公民館ホールとなっています。おいでの方は必ず母子手帳を持参ください。

妊婦訪問

未熟児や異常児の出産を防ぐため、保健婦(助産婦)による妊婦訪問を行います。

十二月は、▽四日▽沢口・七丁目地区▽十一日▽七座・坊沢地区▽二十五日▽綴子地区となっています。

訪問時間は、午前九時から午後四時まで。

自治医科大学
学生募集

自治医科大学では、五十七年度入学者(百名)を次の要領で募集しています。

自治医科大学は、各都道府県が共同で設置した医科大学で、入学科、授業料などの修学に要する費用はすべて貸与となります。(全寮制)

▽受験資格▽高校卒および五十七年三月卒業見込みの者、またはこれと同等以上の学力があると認められる者

▽願書提出期間▽五十六年一月八日から一月十六日まで

▽願書提出先▽秋田市山王四丁目一番一 秋田県庁内福祉保健部医務課

▽試験日▽①第一次・一月二十四日、二十五日(県の指定する場所) ②第二次・二月九日、十日(自治医科大学)

なお、願書の請求、問い合わせともに秋田市山王四丁目一番一 県庁内・福祉保健部医務課(電話 秋田六〇一三三六)となっています。

善意

▽県北社交ダンス連絡協議会(会長・秋元吉美)から、チャリティーダンスパーティーの収益金二〇、六二二円

▽鷹巣教会幼稚園保護者会から、チャリティーバザーの収益金二〇、〇〇〇円(内一〇、〇〇〇円は陽清学園へ指定寄付)

▽鷹巣社交ダンス教室から、チャリティーダンスパーティーの収益金九、七三九円

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。

▽妹尾館▽佐藤政雄さんから亡父金治郎さんの香典返し

二〇、〇〇〇円
▽太田▽小平一文さんから亡父一雄さんの香典返し

二〇、〇〇〇円

▽新屋敷町▽成田清悦さんから亡父清四郎さんの香典返し

三〇、〇〇〇円
▽街道町▽佐藤正則さんから亡父正行さんの香典返し

二〇、〇〇〇円



11月1日～11月15日

誕生おめでとうございます

佐藤 陽(和博 長男) 元町

柏木 友美(良二 長女) 前野

戸嶋 聖志(厚志 長男) 坊沢大町

佐藤 光司(吉美 長男) 街道町

長岐 恵美(和則 長女) 前野

近藤 琴美(政典 長女) 材木町

成田 俊(優 二男) 東横町

二人の前途を祝福いたします

細田 尚平 松葉町

金田 申子 角館町

久留島 浩幸 あけぼの

岸野 ひとみ 南鷹巣

長田 義信 材木町

庄司 留美子 森吉町

おくりやみ申しあげます

成田清四郎(77歳) 新屋敷町

大川 久(45歳) 藤株

村上 九助(50歳) 太田

内山 ハル(86歳) 向黒沢

津谷 サト(82歳) 相善町